

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 8 年 4 月 30 日

都道府県知事 殿

病院名 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター  
開設者 公立大学法人名古屋市立大学  
理事長 郡 健二郎

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。  
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、①. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

記入日：西暦 2026 年 4 月 30 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030915	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 名古屋市立大学医学部附属西 部医療センター臨床研修病院群 番号 030915
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ハヤシ 氏名 (姓) 林 ケイスケ (名) 慶輔	役職 病院管理部管理課庶務係 主事 (内線 6545) (直通電話 (052) 991-8121 ) e-mail : west-resident@sec.nagoya-cu.ac.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ ナゴヤシツダ イカクイガクブゾウカイブ リョウセンター 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	〒 462-8508 (愛知県) 名古屋市北区平手町 1 丁目 1 番地の 1 電話 : (052) 991-8121 F A X : (052) 916-2038 二次医療圏 の名称 : 名古屋・尾張中部医療圏		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ コウリツダ イカクホウジン ナゴヤシツダ イカク リジチョウ コリ ケンジロウ 公立大学法人 名古屋市立大学 理事長 郡 健二郎		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型、協力型記入)</small>	〒 467-8602 (愛知県) 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 電話 : (052) 853-8005 F A X : (052) 841-6201		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ モリタ 姓 森田	アキミチ 姓 明理	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型、協力型記入)</small>	https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/seibu/		

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号： 030915 臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：139名、非常勤（常勤換算）：47.4名 計（常勤換算）：186.4名、医療法による医師の標準員数：28.8名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2020年7月3日、告示番号：第118号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有（288,690）m <sup>2</sup> 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数：3,859件（うち診療時間外：1,753件） 1日平均件数：9.9件（うち診療時間外：4.5件） 救急車取扱件数：3,634件（うち診療時間外：1,667件）
	診療時間外の勤務体制	医師：9～11名、看護師及び准看護師：6～7名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
救急医療を提供している診療科	内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：500床、2. 精神：____床、3. 感染症：____床 4. 結核：____床、5. 療養：____床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：8.8日、2. 精神：____日、3. 感染症：____日 4. 結核：____日、5. 療養：____日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数：450件、異常分娩件数：573件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績：2回、今年度見込：3回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数	前年度実績：5件、今年度見込：5件
剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無（____）大学、（____）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。	
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用：____戸、世帯用：____戸） ①. 無（住宅手当：____円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	①. 有（____室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（55.8）m <sup>2</sup>
	医学図書数	国内図書：12,435冊、国外図書：18冊
	医学雑誌数	国内雑誌：1,778種類、国外雑誌：1,573種類
	図書室の利用可能時間	0：00～24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（____） 利用可能時間（0：00～24：00）24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（____）	

# 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030915

臨床研修病院の名称：

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

<b>18. 病歴管理体制</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ サワダ ヨシノリ 氏名(姓) 澤田 (名) 佳紀 役職 診療情報管理係長		
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に: )		
	診療録の保存期間 診療録の保存方法	( 永年 ) 年間保存 1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に: 2011年5月より電子カルテ化。それ以前は紙媒体。)		
	安全管理者の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	①. 有 ( 1名 ) ②. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。		
<b>19. 医療安全管理体制</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 ( 4 ) 名、兼任 ( 47 ) 名 主な活動内容: 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等: フリガナ タカキ 7キコ 氏名(姓) 高垣 (名) 晃子 役職 相談支援主幹 対応時間(8:45~17:15)24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: ①. 有 ②. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 ②. 無 指針の主な内容:		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年(12)回 活動の主な内容:		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年(8)回 研修の主な内容: 医療安全研修、新規採用者研修、医療機器安全研修、医薬品安全研修		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備: ①. 有 ②. 無 その他の改善のための方策の主な内容: インシデント、アクシデントに基づく再発防止策の標準化と事故防止マニュアルの改訂と周知。「医療安全だより」、日本医療安全調査機構の「医療事故の再発防止に向けた提言」及び日本医療機能評価機構の「医療事故情報」による警鐘事例の周知。		
<b>20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了: 7名 中断: 0名			
<b>21. 現に受け入れている研修医の数</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	当該年度
	1年	8	7	7
	2年	8	7	7
<b>22. 受入可能定員</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出 患者数から算出	許可病床数( 500 )床÷10=( 50 )名 年間入院患者数(147,812)人÷100=(1478.12)名		
<b>23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況</b> <small>(基幹型・協力型記入)</small> 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。	1. 精神保健福祉士: 0名(常勤: 0名、非常勤: 0名) 2. 作業療法士: 4名(常勤: 4名、非常勤: 0名) 3. 臨床心理技術者: 2名(常勤: 2名、非常勤: 0名) 9. その他の精神科技術職員: 0名(常勤: 0名、非常勤: 0名)			
<b>24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況</b> <small>(基幹型記入)</small> JCEPによる評価受審の有無を記載してください。	①. 有 (評価実施機関名: JCEP (2023年2月13日)) ②. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 ①. 有 ②. 無			





## 年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－6－

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理 医師賠償責任保険の扱い 外部の研修活動 院内保育所（再掲） 保育補助（再掲） 体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲） その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲） 研修医のライフイベントの相談窓口（再掲） 各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	健康診断（年 2 回） その他（具体的に ） 病院において加入（①. する ②. しない） 個人加入（1. 強制 ②. 任意） 学会、研究会等への参加：①. 可 ②. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：①. 有 ②. 無 院内保育所の有無 （①. 有 ②. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 時 分 ～ 時 分） 病児保育（1. 有 ②. 無） 夜間保育（①. 有 ②. 無） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（①. 可 ②. 不可） ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 ②. 無） その他の補助（具体的に： 当直を行った月は夜間保育料無料 ） 休憩場所（①. 有 ②. 無） 授乳スペース（①. 有 ②. 無） （ ） ①. 有 ②. 無 窓口の名称がある場合記入（ 病院管理部管理課庶務係 ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名 ） ②. 無 窓口の名称を記入（ ハラスメント相談窓口相談員 ） 窓口の専任担当 ①. 有（ 2名 ） ②. 無
37. 研修医手帳（基幹型記入）	①. 有 ②. 無	①. 有 ②. 無
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[ \frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6)当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない)。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
  - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
  - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
  - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
  - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
  - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
  - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
  - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種類ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別業にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別業にて記入すること。
- 17 「病床の種類ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- (1) 「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけること。また、剖検を大学の剖検室において行っているときは「( ) 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「( ) 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけること。また、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。また、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他( )」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（ $\div 10$ ）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（ $\div 100$ ）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- (1) 「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
- (2) 「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
- (4) 「その他育児関連施設・取組」欄は、上記(1)～(3)に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- (5) 「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること。専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- (6) 「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること。専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

- 31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
  - (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
  - (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 33 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
  - (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
  - (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
  - (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
  - (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
  - (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
  - (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
  - (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
  - (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

## 6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(令和7年度開催回数 3回)

様式A-10別紙1

病院施設番号:030915 臨床研修病院の名称: 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

氏名	所属	役職	備考
モリタ アキヲ 森田 明理	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院長	委員長・病院管理者・指導医
イマエダ ケンロウ 今枝 憲郎	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修センター長(病院長補佐・内分泌・糖尿病内科部長)	研修実施責任者・指導医
ハヤシ ヨシヒト 速水 芳仁	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室副室長(リウマチ・膠原病内科部長)	プログラム責任者・指導医
タカハシ ヒロキ 高橋 広城	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室副室長(消化器外科部長)	指導医
コンドウ ヒロム 近藤 啓	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室副室長(消化器内科部長)	指導医
カウ シンイチロウ 加藤 伸一郎	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	歯科口腔外科部長	歯科指導医
キクチ モトオ 菊地 基雄	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	総合内科部長	指導医
ツチダ ケンジ 土田 研司	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	内視鏡センター長(消化器内科部長)	指導医
アキタ ケン 秋田 憲志	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副院長(呼吸器内科部長)	指導医
ヤシマ カスヒロ 矢島 和裕	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院長補佐(循環器内科部長)	指導医
スガ ノリヒロ 菅 憲広	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	腎臓・透析内科部長	指導医
カナモリ タカシ 金森 貴之	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	血液・腫瘍内科副部長	指導医
モチダ ヨシヒト 持田 圭仁	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	精神科副部長	指導医
イトウ ヤスヒコ 伊藤 康彦	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副院長(小児腫瘍科部長・小児医療センター長)	指導医
コハヤシ サトル 小林 悟	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	小児科副部長	指導医
カミオカ ナオミ 神岡 直美	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	小児アレルギー科部長	指導医
ミツイ アキラ 三井 章	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	院長代行(消化器外科部長)	指導医
ハネダ ヒロシ 羽田 裕司	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	呼吸器外科部長(呼吸器腫瘍センター長)	指導医
スキウラ ヒロシ 杉浦 博士	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院長補佐(乳がん治療センター長・乳腺・内分泌外科部長)	指導医
サトウ ヨウコ 佐藤 陽子	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	小児外科部長	指導医
イダ アツシ 稲田 充	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副院長(整形外科部長)	指導医
オオクラ アツヒコ 大蔵 篤彦	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	脳神経外科部長	指導医
ニシダ エミ 西田 絵美	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	皮膚科部長	指導医
ウメト ユキヒロ 梅本 幸裕	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副院長(泌尿器科部長)	指導医
ニシカワ ナオミ 西川 尚実	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	周産期医療センター長(産婦人科部長)	指導医
ナカガワ ヨウコ 中沢 陽子	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	眼科部長	指導医
タカノ カク 高野 学	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	耳鼻いんこう科副部長	指導医
オキノ ヒロユキ 荻野 浩幸	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	陽子線治療センター長(陽子線治療科部長)	指導医
ナカガワ モトオ 中川 基生	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	放射線診断科部長	指導医
クサマ ノブヨシ 草間 宣好	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	麻酔科部長	指導医

氏名		所属	役職	備考
ササノ	ノコ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	副病院長（災害医療センター長・集中治療部部長）	指導医
笹野	信子			
イシカワ	ミサオ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病理診断科部長	指導医
石川	操			
オザキ	ヤスヒコ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	中央検査科部長	指導医
尾崎	康彦			
イダ	ヤスヒロ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室	臨床研修医
飯田	泰大			
マツモト	ヒロシ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	臨床研修室	臨床研修医
松本	亘史			
モリ	キヨカ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	中央放射線部技師長診療技術科技師長	指導者
森	清孝			
オカワ	シンスケ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	中央検査科技師長	指導者
小川	新介			
サトウ	ユミ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	薬剤部副部長	指導者
佐藤	由美子			
トモヒロ	チカ	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	看護部長	指導者
友廣	智香			
イスマ	ヨシテル	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	病院管理部長	事務部門の責任者
飯沼	義照			
ムラカミ	ヒデキ	名古屋市立大学病院	総合研修センター長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
村上	英樹			
ヤマダ	ケンタロウ	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	臨床研修センター長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
山田	健太郎			
ヤマダ	トシユキ	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	心臓血管外科副部長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
山田	敏之			
セノ	キョウジ	名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院	病院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
妹尾	恭司			
ヤマシタ	スミ	名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院	院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
山下	純代			
ヤスイ	ケンゾウ	日間賀島診療所	診療所長	臨床研修協力施設研修実施責任者
安井	健三			
ホリ	ケイイチ	知多厚生病院付属篠島診療所	診療所長	臨床研修協力施設研修実施責任者
保里	恵一			
コバヤシ	シンヤ	愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院	病院長	協力型臨床研修病院研修実施責任者
小林	真哉			
サモ	ヨウスケ	国民健康保険上矢作病院	副病院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
佐本	洋介			
マエダ	ヒデト	新城市作手診療所	所長	臨床研修協力施設研修実施責任者
前田	英登			
シモダイラ	タカヒロ	医療法人輝山会記念病院	内科医長	臨床研修協力施設研修実施責任者
下平	隆寛			
カン	サカエ	医療法人開生会かいせい病院	院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
菅	栄			
カタギリ	ケンジ	医療法人 笠寺病院	副院長	臨床研修協力施設研修実施責任者
片桐	健二			
シバヤ	ヤスユキ	名古屋市立大学病院	歯科口腔外科部長	歯科 協力型臨床研修施設研修実施責任者
渋谷	恭之			
カウ	アツシ	愛知県医療療育総合センター中央病院	小児歯科医長	歯科 協力型臨床研修施設研修実施責任者
加藤	篤			
ゴトウ	ヨウ	医療法人城北 城北歯科医院・矯正歯科	院長	歯科 協力型臨床研修施設研修実施責任者
後藤	洋			
サノ	ユイ	名古屋市北区医師会	会長	外部有識者
佐野	由衣			

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No. )」欄にページ数を記入すること。

## 12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
病院施設番号：030915

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 ( 部 門 )	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			
							産 科	婦 人 科					脳 神 経 外 科	整 形 外 科	皮 膚 科	
年間入院患者実数 ( ) 内は救急件数又は分娩件数	5,145	N/A	1,672	0	1,626	2,129	N/A	N/A	0				108	720	34	
年間新外来患者数	6,960	N/A	904	0	3,037	2,193	N/A	N/A					236	1,248	821	
1日平均外来患者数 ( ) 内は年間外来診療日数	380.8 (242)	N/A	103.7 (242)	0 ( )	77.1 (242)	131.5 (242)	N/A	N/A					11.3 (242)	102.9 (242)	70.7 (242)	
平均在院日数	10.9	N/A	9.0	0	9.2	7.3	N/A	N/A	0				16.0	18.2	9.3	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	44 (20)	0	15 (11)	5 (3)	13 (8)	17 (6)			2 (2)				1 (1)	5 (1)	3 (2)	

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

病院施設番号：030915

区 分	その他の研修を行う診療科														合 計
	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	陽子線治療科	病理診断科	中央検査科	集中治療部	緩和ケア医療部	形成外科					
年間入院患者実数（済） （）内は救急件数又は分娩件数	876	546	447	0	677										13,772
年間新外来患者数	792	770	1,029	2,209	1,051										22,884
1日平均外来患者数 （）内は年間外来診療日数	69.3 (242)	41.9 (242)	39.6 (242)	13.1 (242)	73.8 (242)										
平均在院日数	5.9	3.9	6.2	0	1.0										
常勤医師数 （うち臨床研修指導医(指導医)数)	4 (2)	4 (0)	3 (1)	11 (2)	7 (3)	2 (2)			1	1					139 (64)

## 12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

( 7年度分)								臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター						
								病院施設番号：030915						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
西部医療センター	内科	4	4	5	7	7	3	5	5	6	8	3	6	8
同上	小児科	1	1	2		1	1	1	1	1	1	1	2	2
同上	産婦人科		1	1	1		1	1	2	1	1	2	1	2
同上	外科	2	3	1		1	1	1	1	2		3	2	1
同上	麻酔科	2	1	1	1		1	1		2	1			
同上	地域医療			1	1	1	1	1	1		1			
同上	精神科		1		1	1	2	2	2	1	1		1	1
同上	救急部門	5	3	3	1	3	2	1	1	2		3	3	
名古屋市立大学病院	内科	1		1	1	1	1	1		2		2	1	1
同上	小児科		1										1	1
同上	産婦人科	1								1				
同上	外科						1		1					
同上	麻酔科					1		1						
同上	救急部門	1	2	1	1				1		2			
東部医療センター	内科						1							
同上	小児科													
同上	産婦人科													
徳洲会	小児科								1					

( 8年度分)								臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター						
								病院施設番号：030915						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
西部医療センター	内科	3	4	4	5	4	8	5	7	6	7	4	4	5
同上	小児科	1	1	1	1	1							1	1
同上	産婦人科				1	1	1	1	1	1	1	1		
同上	外科	1	2	2	2		1	1		1	1	1	1	2
同上	麻酔科	1	1	2	1							1	1	1
同上	地域医療	2	1	1	2		1			1		1	1	
同上	精神科		1			1	1	1	1	1	1	1	1	1
同上	救急部門	5	3	2	1	3	1	4	4	1	3	2	2	1
名古屋市立大学病院	内科	4	4	3	4	2	1	2	1	2	3	3	3	3
同上	小児科						1	1	1	1	1			
同上	産婦人科	1	1	1							1	1	1	1
同上	外科				1	1	1	1	1					
同上	麻酔科					1	1	1	1	1				
同上	救急部門		1	1	1	1	1		1	1		1	1	1
東部医療センター	小児科		1							1	1	1		

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030915511

病院施設番号： 030915 臨床研修病院の名称： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

臨床研修病院群番号： 0309155 臨床研修病院群名： 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター臨床研修病院群医師臨床研修プログラム															
2. 研修プログラムの特色	<p>1 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター（以下、「西部医療センター」と略す）は病診連携を基礎にした地域の中核病院であり、日常診療でよく遭遇する疾患をはじめ、急性期小児周産期医療を研修できる。</p> <p>2 総合病院として各科の専門医が充実しており、ローテート各科で専門医から指導を受けることができる。</p> <p>3 各科は関連学会の指定教育施設の認定を多く有し、将来専門医を取得するために必要な研修ができる。</p> <p>4 選択科目の研修期間を充実し、西部医療センターに加え、年間7,000台を超える救急車の受け入れ実績のある名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、高度先端医療を担う名古屋市立大学病院との連携を強化した臨床研修病院群の中から、各研修医が将来のキャリアを見据えた研修診療科の選択が可能である。</p>															
3. 臨床研修の目標の概要	<p>医師は、病める人の尊厳を守り、医療の提供と公衆衛生の向上に寄与する職業の重大性を深く認識し、医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得する。</p> <p>1 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）</p> <p>2 資質・能力</p> <p>3 基本的診療業務</p>															
4. 研修期間	（ 2 ）年（原則として、「2年」と記入してください。）															
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。															
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="496 1877 1503 2098"> <thead> <tr> <th data-bbox="496 1877 667 1973">病院施設番号</th> <th data-bbox="667 1877 1123 1973">病院又は施設の名称</th> <th data-bbox="1123 1877 1286 1973">研修期間</th> <th data-bbox="1286 1877 1503 1973">内一般外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="496 1973 667 2029">(記入例) x x 科</td> <td data-bbox="667 1973 1123 2029">1234567 ○○ 病院</td> <td data-bbox="1123 1973 1286 2029">○週</td> <td data-bbox="1286 1973 1503 2029">○週</td> </tr> <tr> <td data-bbox="496 2029 667 2098">必修 内科</td> <td data-bbox="667 2029 1123 2098">030915 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター</td> <td data-bbox="1123 2029 1286 2098">24週</td> <td data-bbox="1286 2029 1503 2098">1.6週</td> </tr> </tbody> </table>				病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	(記入例) x x 科	1234567 ○○ 病院	○週	○週	必修 内科	030915 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	24週	1.6週
病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来													
(記入例) x x 科	1234567 ○○ 病院	○週	○週													
必修 内科	030915 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	24週	1.6週													

科目・分野	救急部門	030915 030400	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	12週	
	地域医療	032788 035303 096068 — 032815 056305 032048 147499	新城市作手診療所 国民健康保険上矢作病院 医療法人輝山会記念病院 医療法人開生会かいせい病院 知多厚生病院附属篠島診療所 日間賀島診療所 愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 医療法人 笠寺病院	4週	一般外来 0.8週 在宅診療 1週程度
	外科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週	1.2週
	小児科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週	0.8週
	産婦人科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週	
	精神科	030413	名古屋市立大学病院	4週	
	一般外来				
	病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週
整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 のうち、1科又は2科		030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	4週	週
					週
					週
選択 科目	内科	030915	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	40週	週
	救急部門				
	外科	030400	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター		
	小児科				
	産婦人科	030413	名古屋市立大学病院		
	麻酔科	030987	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院		
	整形外科	032776	名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院		
	脳神経外科				
	皮膚科	—	名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院		
	泌尿器科				
	眼科				
	耳鼻咽喉科				
	放射線科				

	病理診断科			
	形成外科			
	リハビリテーション科			
<p>備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。  臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。  研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・なし  救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週 ※但し、4 週を上限とする  一般外来の研修を行う診療科・・・内科、小児科、外科、地域医療で併せて 4 週  ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること</p>				



名古屋市立大学医学 外科系  
部附属西部医療セン  
ター(030915)

- \* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- \* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- \* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。





3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科	森田 明理	西部医療センター	病院長	36年	○		030915511 030915512	4
内科	菊地 基雄	西部医療センター 総合内科	部長	35年	○	第6回藤田健康衛生大学院臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本老年医学会老年病専門医、指導医、代議員 日本老年医学会高齢者栄養療法認定医 日本がん治療認定医機構認定医 日本血液学会血液専門医、指導医 日本化学療法学会抗化学療法認定医、指導医 認定病院総合診療医、教育責任者 Fellow of the American College of Physicians 日本医師会認定産業医 ACLS-EPプロバイダ JNET-インストラクタ 平成30年度プログラム責任者講習会受講	030915511 030915512	4
内科	大島 忠之	西部医療センター 消化器内科	部長	31年	○	消化器病専門医 消化器内視鏡専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会指導医 日本消化器学会胃腸科認定医 がん治療認定医 日本消化器病学会指導医 胃腸科専門医 総合内科専門医神経消化器病認定医	030915511 030915512	4
内科	森 義徳	西部医療センター 消化器内科	部長	31年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本消化器病学会専門医、指導医 日本消化器内視鏡学会専門医、指導医 日本消化器学会胃腸科専門医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 日本医師会認定産業医	030915511 030915512	4
内科	近藤 啓	西部医療センター 消化器内科	部長	27年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医	030915511 030915512	4
内科	北川 美香	西部医療センター 消化器内科	副部長	20年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会 総合内科専門医、指導医 日本消化器病学会 専門医、指導医 日本内視鏡学会 専門医、指導医 日本消化器学会 胃腸科専門医、指導医 日本肝臓学会 専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了	030915511 030915512	4
内科	秋田 憲志	西部医療センター 呼吸器内科	副病院長 部長	34年	○	第4回大ネットワーク指導医講習会受講済み 日本内科学会 認定内科医、指導医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医、指導医 日本臨床腫瘍学会 暫定指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、暫定教育医 日本禁煙学会 認定指導医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡指導医、認定医 日本結核学会 結核、抗酸菌症認定医 ID制度協議会 ICD (Infection Control Doctor) 名古屋市立大学医学部臨床教授 米國臨床腫瘍学会 (ASCO) 会員	030915511 030915512	4
内科	國井 英治	西部医療センター 呼吸器内科	副部長	24年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会 総合内科専門医、指導医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本結核学会 結核、抗酸菌症認定医 肺がんCT検査認定医 肺がんCT検査認定医師	030915511 030915512	4
内科	矢島 和裕	西部医療センター 循環器内科 心臓カテーテル治療科	病院長補 佐部長	35年	○	第1回岐阜県医師育成、確保コンソーシアム臨床研修講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心臓インターベンション治療学会 専門医 日本不整脈心電学専門医 橋込み型除動脈/ペースングによる心不全治療研修修了	030915511 030915512	4
内科	池原 典之	西部医療センター 循環器内科	副部長	25年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会 総合内科専門医 日本循環器学会 専門医	030915511 030915512	4
内科	大喜多 賢治	西部医療センター 脳神経内科	部長	31年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
内科	今枝 憲郎	西部医療センター 内分泌・糖尿病内科	病院長補 佐部長	37年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医 日本臨床腫瘍学会専門医、研修指導医、評議員 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医、指導医 日本医師会認定産業医	030915511 030915512	3, 4
内科	荒川 耕平	西部医療センター 内分泌・糖尿病内科	医師	9年	○	名古屋市立大学病院第11回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
内科	菅 憲広	西部医療センター 腎臓・透析内科	部長	25年	○	愛知医科大学病院平成20年8月31日開催臨床研修指導医のための教育ワークショップ受講済み 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本腎臓学会専門医、指導医、評議員 日本透析医学会専門医、指導医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本医師会認定産業医 医学博士	030915511 030915512	4
内科	宮口 祐樹	西部医療センター 腎臓・透析内科	副部長	10年	○	第164回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
内科	金森 貴之	西部医療センター 血液・腫瘍内科	副部長	16年	○	第164回臨床研修指導医講習会受講済み	030915511 030915512	4
内科	成田 朋子	西部医療センター 血液・腫瘍内科	部長	19年	○	内科認定医 血液専門医 血液指導医	030915511 030915512	4
内科	速水 芳仁	西部医療センター リウマチ・膠原病内科	部長 プログラム責任者	32年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会受講済み 日本内科学会総合内科専門医、指導医 日本リウマチ学会リウマチ専門医、指導医	030915511 030915512	1, 4
内科	榊原 悠太	西部医療センター リウマチ・膠原病内科	医師	10年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4

3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経 験 年数	指導医講 習会等の 受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導 医)
内科	山根 佑基	西部医療センター 内分泌・糖尿病内 科	医師	7年	○	全国自治体病院協議会第185回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
精神科	奥山 徹	西部医療センター 精神科	病院長補 佐 緩和ケア センター	32年	○	精神科七者懇談会平成17年度第1回臨床研修指導医講習会 一般病院連携精神医学専門医・指導医 精神科専門医 クロザリル患者モニタリングサービ登録 登録精神科医	030915511 030915512	4
精神科	持田 圭仁	西部医療センター 精神科	副部長	23年	○	全国自治体病院協議会第177回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
小児科	伊藤 康彦	西部医療センター 小児腫瘍科	副病院長 小児医療 センター 長	38年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会 小児科専門医 日本血液学会 血液専門医 腫瘍指定医 小児慢性特定疾病指定医	030915511 030915512	4
小児科	濱嶋 直樹	西部医療センター 小児科	がんゲ ムセン ター長 部長	35年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会小児科専門医 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医・指導医 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医・指導医 日本小児内分泌学会評議員 インフュージョンコントロールドクター認定医	030915511 030915512	4

## 3.1. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 030915

臨床研修病院の名称: 名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有: ○ 無: ×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
小児科	加藤 文典	西部医療センター小児科	部長	28年	○	日本小児学会小児科専門医 日本周産期・新生児医学会周産期専門医 臨床遺伝専門医制度による専門医 日本小児科学会第5回小児科医のための臨床研修指導医講習会修了	030915511 030915512	4
小児科	小林 悟	西部医療センター小児科	副部長	27年	○	名古屋市立大学病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児学会小児科専門医 日本小児科学会小児科専門医 日本てんかん学会てんかん専門医	030915511 030915512	4
小児科	横井 暁子	西部医療センター小児科	副部長	25年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
小児科	千代田 瞳	西部医療センター小児科	医師	13年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会専門医 緩和ケア研修会修了	030915511 030915512	4
小児科	春日部 こずえ	西部医療センター小児科	医師	12年	○	日本小児科学会小児科専門医 日本小児科学会 出生前コンサルタンツ小児科医 初期臨床研修カリキュラム・プランニングと研修指導法修了	030915511 030915512	4
小児科	安倍 啓介	西部医療センター小児科	医師	10年	○	名古屋市立大学病院第11回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
小児科	神岡 直美	西部医療センター小児アレルギー科	部長	33年	○	日本小児科学会第15回小児科医のための臨床研修指導医講習会受講済み 日本小児科学会小児科専門医 日本アレルギー学会認定専門医	030915511 030915512	4
外科	三井 章	西部医療センター消化器外科	院長代行	34年	○	WHJ研究会第1回臨床研修指導医養成セミナー受講済み 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定教育医 消化器がん外科治療認定医 日本食道学会食道科認定医・評議員	030915511 030915512	4
外科	高橋 広城	西部医療センター消化器外科	部長	29年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
外科	安藤 菜奈子	西部医療センター消化器外科	医師	21年	○	H26.6.23日本病院会主催臨床研修指導医養成講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 難病指定医 緩和ケア研修会修了	030915511 030915512	4
外科	大久保 友貴	西部医療センター消化器外科	医師	21年	○	名古屋市立大学病院第11回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
外科	羽田 裕司	西部医療センター呼吸器外科	呼吸器腫瘍センター長	29年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本呼吸器学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 緩和ケア研修会修了	030915511 030915512	4
外科	坂根 理司	西部医療センター呼吸器外科	副部長	17年	○	第19回日本医師会指導医のための教育ワークショップ(愛知県医師会主催)	030915511 030915512	4
外科	杉浦 博士	西部医療センター乳腺・内分泌外科	病院長補佐 乳がん治療センター長	31年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本乳癌学会専門医 日本がん治療認定医機構認定教育医 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師 名古屋市立大学医学部臨床准教授	030915511 030915512	4
外科	波戸 ゆかり	西部医療センター乳腺・内分泌外科	副部長	21年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳癌専門医	030915511 030915512	4
外科	加藤 江梨	西部医療センター乳腺・内分泌外科	医師	14年	○	全国自治体病院協議会第179回指導医講習会	030915511 030915512	4
外科	佐藤 陽子	西部医療センター小児外科	部長	32年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会受講済み 日本外科学会専門医・指導医 日本小児外科学会専門医 日本消化器外科学会認定教育医 日本がん治療認定医機構認定教育医	030915511 030915512	4
脳神経外科	大蔵 篤彦	西部医療センター脳神経外科	部長	30年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
整形外科	稲田 充	西部医療センター整形外科	副院長 部長	32年	○	全国自治体病院協議会主催第158回臨床研修指導医講習会受講済み 日本整形外科学会 専門医・指導医 日本脊椎神経学会 指導医 日本整形外科学会 認定脊椎神経病医	030915511 030915512	4
皮膚科	西田 絵美	西部医療センター皮膚科	乾癬治療ケアセンター長 部長	30年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
泌尿器科	梅本 幸裕	西部医療センター泌尿器科	副院長 生殖医療センター長	32年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器認定医・ロボット手術プロクター 日本内視鏡外科学会技術認定(泌尿器鏡腔鏡) 日本生殖医学会代議員 名古屋市立大学大学院 高度医療教育研究センター 教授 日本アンドロロジー学会評議員	030915511 030915512	4
泌尿器科	内木 拓	西部医療センター泌尿器科	副部長	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第7回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4

## 3.1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030915

臨床研修病院の名称：名古屋市立大学医学部附属  
西部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
産婦人科	西川 尚実	西部医療センター産婦人科	産婦人科部長	33年	○	産科医療保証会・日本医師会平成29年1月28日開催指導医のためのワークショップ受講済み 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 母体保護法指定医 日本産科・新生児学会周産期（母体・胎児）専門医・認定医 日本人類遺伝学学会専門医	030915511 030915512	4
産婦人科	中元 永理	西部医療センター産婦人科	副部長	21年	○	第16回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会受講済み 日本産科婦人科学会産婦人科専門医	030915511 030915512	4
産婦人科	林 祥太郎	西部医療センター産婦人科	医師	15年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
産婦人科	近藤 恵美	西部医療センター産婦人科	医師	11年	○	名古屋市立大学病院第11回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
産婦人科	牧野 明香里	西部医療センター産婦人科	医師	16年	○	名古屋市立大学病院第11回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
産婦人科	粟生 晃司	西部医療センター産婦人科	医師	10年	○		030915511 030915512	4
眼科	中沢 陽子	西部医療センター眼科	部長	39年	○	名古屋市立大学病院第4回臨床研修指導医講習会受講済み 日本眼科学会専門医 PDI認定医 名古屋市立大学医学部臨床教授	030915511 030915512	4
耳鼻咽喉科	高野 学	西部医療センター耳鼻咽喉科	副部長	18年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会 日本耳鼻咽喉科学会専門医 がん治療認定医 頭頸部がん専門医	030915511 030915512	4
放射線科	林 香奈	西部医療センター放射線診断科	副部長	18年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本医学放射線学会放射線診断専門医 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会検診マンモグラフィ読影認定医師	030915511 030915512	4
放射線科	山田 真帆	西部医療センター放射線治療科	副部長	17年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
陽子線治療科	荻野 浩幸	西部医療センター陽子線治療科	陽子線治療センター長 部長	35年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第6回臨床研修指導医講習会受講済み 日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会研修指導者 日本IWi学会専門医 日本放射線腫瘍学会 代議員 名古屋市立大学大学院高度医療教育研究センター 教授	030915511 030915512	4
陽子線治療科	岩田 宏満	西部医療センター陽子線治療科	副部長	22年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第8回臨床研修指導医講習会受講済み 日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本医学放射線学会研修指導者 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	030915511 030915512	4
陽子線治療科	服部 有希子	西部医療センター陽子線治療科	医師	17年	○	名古屋市立大学病院・名古屋市立病院第9回臨床研修指導医講習会受講済み 放射線治療専門医	030915511 030915512	4
麻酔科	笹野 信子	西部医療センター集中治療部	副病院長 部長	37年	○	平成20年度第7回MMC指導医養成講習会受講済み 日本麻酔科学会専門医・指導医 日本医学放射線学会放射線治療専門医 日本集中治療医学会専門医	030915511 030915512	4
麻酔科	坂本 みな実	西部医療センター麻酔科	医師	16年	○	第16回岐阜県医師育成・確保コンソーシアム臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
麻酔科	高 ひとみ	西部医療センター麻酔科	医師	17年	○	全国自治体病院協議会第180回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
病理診断科	石川 操	西部医療センター病理診断科	部長	16年	○	第20回愛知県厚生農業協同組合連合会 臨床研修指導医講習会受講済み	030915511 030915512	4
病理診断科	中尾 健寿	西部医療センター病理診断科	副部長	10年	○	名古屋市立大学病院第10回臨床研修指導医講習会	030915511 030915512	4
中央検査科	尾崎 康彦	西部医療センター中央検査科	部長	39年	○	名古屋市立大学病院第1回臨床研修指導医講習会受講済み 日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医 母体保護法指定医 名古屋市立大学大学院高度医療教育研究センター教授	030915511 030915512	4

## 25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター（ 愛知県 ）

研修プログラムの名称 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター臨床研修病院群医師臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	030915	基幹型	愛知県	356時間	月5～6回 宿日直許可なし	423時間 対象となる研修医14名(2025年度)	申請なし
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	030400	基幹型	愛知県	600時間	月4～5回 宿日直許可なし	約500時間 対象となる臨床研修医18名 (2025年度)	申請なし
名古屋市立大学病院	030413	基幹型	愛知県	960時間	月4～5回 宿日直許可なし	340時間 研修医の中で年単位実績の最大値	申請なし

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。

研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。

## 7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

名古屋市立大学医学部附属

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）西部医療センター（愛知県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム		
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員	
愛知県	名古屋・尾張中部	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター (病院施設番号:030915)		愛知県	名古屋・尾張中部		名古屋市立東部医療センター (病院施設番号:030400)		岐阜県	東濃		国民健康保険上矢作病院 (病院施設番号:035303)				
				愛知県	名古屋・尾張中部		名古屋市立大学病院 (病院施設番号:030413)		愛知県	知多半島		日間賀島診療所 (病院施設番号:056305)				
				愛知県	名古屋・尾張中部		名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院 (病院施設番号:030987)		愛知県	知多半島		知多厚生病院附属篠島診療所 (病院施設番号:032815)				
							(病院施設番号: )		愛知県	東三河北部		新城市作手診療所 (病院施設番号:032778)				
							(病院施設番号: )		長野県	飯伊		医療法人輝山会記念病院 (病院施設番号:096068)				
							(病院施設番号: )		愛知県	名古屋・尾張中部		医療法人開生会かいせい病院 (病院施設番号: )				
							(病院施設番号: )		愛知県	名古屋・尾張中部		医療法人笠寺病院 (病院施設番号:147499)				
							(病院施設番号: )		愛知県	西三河北部		愛知県厚生農業協同組合連合会 足助病院 (病院施設番号:032048)				
							(病院施設番号: )		愛知県	名古屋・尾張中部		名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院 (病院施設番号:032776)				
							(病院施設番号: )		愛知県	名古屋・尾張中部		名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院	○			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

病診連携病院である

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。